



第24回定時株主総会 質疑応答集

開催日時：2022年6月28日（火曜日）午後1時

場 所：アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 東京ベイ幕張ホール 2階

1.

Q（株主）	今回の株主総会のスタッフのシャツについては、どのような方針で用意し、それを着こなすように指示されたか教えて欲しい。
A（議長）	<p>株主総会は年に一度、社員一丸となって株主様に説明をする、また色々な意見を頂く、一大イベントと捉えております。そのため、団結感といったもの優先させるにあたって、社員で同じものを着ようということをここ数年続けております。また、当社の社員はご存知の通り、ファッション好きが集まっておりますので、日々、色々なファッションを好きに着こなし、褒め合い、笑い合い、楽しんでいる状況であり、「似合う」を追及する下地作りの環境という意味では良いものと感じており、普段から色々なバリエーションで、個性豊かな形で彩っていますが、こういう特別な日は、服装を揃える形でやらせていただいております。</p> <p>また、今回のコンセプトという意味では、Tシャツのバックプリントについてご覧頂いたかもしれませんが、世界平和をモチーフにしております。世界平和は、雲をつかむような曖昧なものではありますが、我々としては、それを実現したいという思いをイラストにしております。</p>

2.

Q	Zホールディングスグループとしてのシナジーがどうなっているのか。また、そのシナジーの結果として、ファッションを楽しめる環境をデジタルにて提供した方がよいのではないか。
A	<p>Zホールディングスグループとのシナジーに関しては、第一段階のPayPayモールにおける取り組みは開始から2年が経ちしっかりと成長してきています。それ以外にも、まだまだ目に見えてこないものも含めて色々取り組んでおります。目に見えているものとしては、LINE社との提携の第一弾として、LINEギフトによるシナジーというところがございます。LINEギフトによる、友達同士でギフトを簡単に提供し合えるようなサービスの中に、ZOZOTOWNの商材を組み込むことができました。ただ、これに留まるつもりはなく、Zホールディングスグループ各社が保有する大きな顧客ベースを、ZOZOとしても存分に使っていただくことを考えております。</p> <p>二つ目の話のファッションを楽しむ場の提供については、冒頭から申し上げている「似合う」というところに、我々の想いが詰まっております。「似合う」というのは、自分としてテンションが上がる話と、人から見られてそれがいいなと思われ、見た人自体も気持ちいいというようなことを捉えることが多いと思いますが、それをデジタルの力で実現するというのが、今後、単に洋服を売っている会社からの脱皮の一步だと考えておりますので、お話いただいた方向で進みつつあります。そしてその結果として、実際に新しいサービスの提供が始まりました、という話を株主総会の場でしっかりとご説明できるように今後努力して参りますので、引き続きよろしく願いいたします。</p>



3.

Q	ZOZOでしか買えないアイテムを作ってほしいと考えている。
A	過去にプライベートブランドにも挑戦しましたが、限定商品の販売をするためには、我々が製造したものを売っていくというのが一番の近道だと思っております。そのため、生産支援という形で、中国に確保している生産拠点を利用し、我々にしか作れないオリジナルのものをつくるという意気込みで動いております。今後、小売としてのバランスを崩さぬように配慮しながら、誇れるレベルのものを増やしていきたいと考えております。

4.

Q	Zホールディングスグループのコミュニケーションツールを用いて、男性向けのコーディネートに関するサービスの提供を検討してもらいたい。
A	我々の顧客層の3割程は男性です。一方で、ジェンダーレスという言葉も最近多く聞かれるになり、そこの境目を意識しないような商材も多く出てきている中で、性別に関しては色々考えることが多い状況です。また、マーケットという意味では、Zホールディングスグループが抱える顧客の年齢層は、我々が抱える顧客と比較すると若干高めかつ男性の割合が高いということから、どうやっておしゃれをしたらいいかわからない方々がいらっしやると考えております。そういった方々に対して、どのようにアプローチしていくかについては、今までターゲットにしてきたお客様とは趣味嗜好が違うので、これまでとは違った手法が必要と考えています。そのターゲットならではの攻め方を色々試していくところでもありますので、引き続きマーケットとして見ながら進めていきたいと考えております。

以上